



挨拶をする西村卓二東京富士大学監督



写真は、昭和40年秋、41年春2部でプレーした左から、河合さん、鈴木さん、木村さん、山根さん、久保さん



昭和28年から30年まで2部でプレーした左から、大石さん、大石さん、中島さん、津川さん

東京大学卓球部2部昇格祝賀会

昭和41年以来、46年ぶりに2部昇格

6月24日(日)、午後5時半から東京大学卓球部2部昇格祝賀会が、ルヴェンヴェール駒場においてOB・OG・現役選手ら120名が出席し、盛大に開催された。

6月2日(土)、埼玉工業大学で春季関東学生リーグ戦の入れ替え戦が行われた。

男子3部で優勝したのは、創部82年の伝統を誇る東京大学。

3部のブロック優勝は、昨年の春から数え連続3季目。だが、過去2回は優勝決定戦で千葉商大に敗れ入れ替え戦まで進んでいない。

優勝決定戦には、元女子監督の坂間寿雄さんが大阪から駆けつけた。「決定戦は応援しようと思ひ、大阪から来ました。千葉商大に4-3で勝ったのですが、勝つても誰も喜ばないのです。

私は嬉しかったのですが、選手たちは、次の入れ替え戦を見据えていたのだと思います。それが今までと違って印象に残っています」と振り返った。

入れ替え戦の相手は東洋大学。

実力は、7対3か、8対2で東洋大が上。

東大は、エースの伊藤裕紀主将がトップ

に出て勝負をかけるか、それとも3番に出

て確実に1点を取るか、オーダーに迷ったという。

「トップに行こうとは思っていませんが、みんなに伊藤さんトップに行ってくださいと後押しされました」

第1ゲームをジュースの末に取った伊藤は、つづく第2ゲームも奪い、3-1で下し、流れを作った。

「伊藤が勝ってくれたことで、勢いが増しました」と長谷川次彦監督。

長谷川さんは、今年で監督生活35年。記念史の中のこととをみると、昭和38年卒、世界チャンピオンの兄、信念の人、とある。

2番は東洋大が返したが、3番鈴木悠祐はゲームオールジュース、4番伊藤・田淵組はゲームオール9本で取り、3-1と東大が悲願に王手をかけた。

5番田淵拓也、6番萩本政大戦は、2台進行となり、両選手とも0-2とリードされ、苦しい展開となった。しかし、東大はここからチーム力をみせ、挽回田淵はゲームオールの末に敗れたが、萩本は最後まで粘り、ゲームオール9本で下し、昭和41年春以来46年ぶりに2部昇格を果たした。

「昨年3部で優勝したとき、激励会を行い、皆さんから寄付金をいただきました。そのお金で外部コーチを招へいすることができ、その力も大きかったと思います。」

私は、長谷川監督とは同期で

彼が頑張るうちは私も頑張らなきゃいけないと思っています」とOB会長の松下明さん。

今年1月から外部コーチとして指導に当たっている奥田昭和さんは、「戦略的な面とか、メンタル的な面を指導させてい

ただきました。秋は2部で優勝するように意識の高め方、テンションの高め方を考えて指導していきたく思います」と語る。

決勝点をあげた萩本は、大御所タレント萩本欽ちゃんの親戚という。入れ替え戦の6番について次のように語ってくれた。

「先輩たちがいい流れを作ってくれたことで、楽な気持ちで臨むことができ、すこく助かりました。」

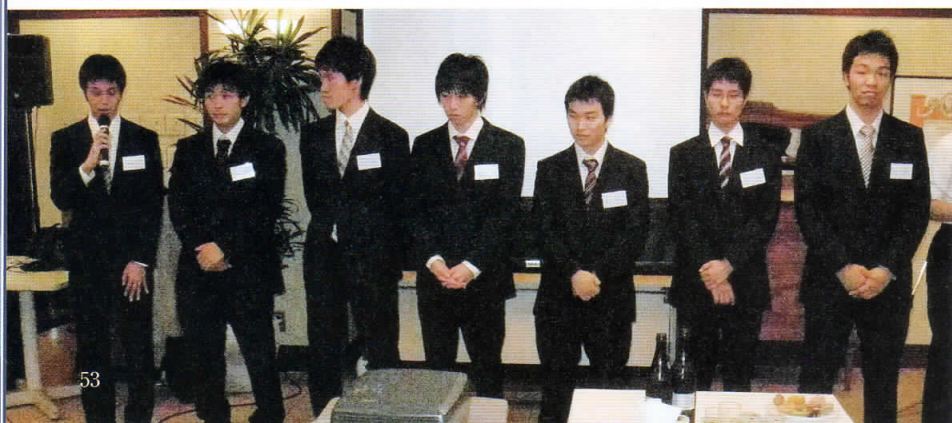
しかし、0-2とリードされたときは、このまま負けてラストに行ったら、悪い流れになつてしまつので、負けるにしてもチームの流れを崩したくないということ踏ん張りました。1ゲームを取つたら、相手が消極的になつてくれて、勝つことができました。

これで本当に2部に上がったのか、そのときは信じられなくて、その後2日間ぐらいは実感がありませんでした。

秋もリーグ戦に出ることになればチームの力になりたいと思います」と力強い抱負。

秋季リーグ戦は、9月5日(水)〜7日(金)まで東京都墨田区総合体育館で開催される。

46年ぶりに2部にあげた現役選手



入れ替え戦のスコア

東大	対	東洋大
伊藤 3	43	10
鈴木 0	22	11
田淵 2	40	11
萩本 3	53	11
伊藤 3	42	11
田淵 2	40	11
萩本 3	53	11
友光 2	22	11
合計	14	255
東大	4	2
東洋大	2	2
合計	6	4